

役員及び評議員の報酬等並びに費用弁償に関する規程

(目的及び意義)

第1条 この規程は、社会福祉法人ひより会（以下「この法人」という。）の定款第9条及び第23条の規定に基づき、役員及び評議員の報酬等並びに費用弁償に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(定義等)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 役員とは、理事及び監事をいう。
- (2) 評議員とは、定款第5条に基づき置かれる者をいう。
- (3) 報酬等とは、報酬、賞与その他の職務執行の対価として受ける財産上の利益及び退職手当であつて、その名称の如何を問わない。
- (4) 費用とは、職務遂行に伴い発生する旅費（交通費、宿泊費）等であつて、報酬等とは明確に区分されるものとする。

(報酬等の支給)

第3条 この法人は、役員に職務執行の対価として報酬等を支給する。

2 評議員には、定款第9条で定める金額の範囲内で、報酬等を支給する。

3 理事で職員としての立場を有する者に対しては、報酬等は支給しない。ただし、正規の勤務時間以外に開催される理事会等に出席し、職員としての給与等が支払われない場合においては、報酬等を支給する。

(報酬等の額の決定)

第4条 この法人の全理事の報酬総額は、年間50万円以内とする。

2 この法人の全監事の報酬総額は、年間20万円以内とする。

3 理事、監事に対する報酬は、別記1「理事、監事の報酬」に定める額とする。

4 評議員の報酬は、別記2「評議員の報酬」に定める額とする。

(費用弁償の支給)

第5条 この法人は、役員及び評議員がその職務の執行にあたって負担した費用については、これを請求のあった日から遅滞なく支払うものとし、また前払いを要するものについては、前もって支払うことができるものとする。

2 役員及び評議員に費用弁償を支給する業務は、次のとおりとする。

- (1)理事会、評議員会への出席
 - (2)定期監査、臨時監査への出席
 - (3)行政機関による監査の立会い
 - (4)その他、理事長が必要と認めた業務
- 3 前2項に業務執行に際し、一律2,000円を支給する。
- 4 役員及び評議員には、出張に要する旅費(交通費、宿泊費)を、一般職員出張旅費基準に準じて出張費として支給することができる。

(報酬等及び費用弁償の支給日)

第6条 役員及び評議員の報酬等及び費用弁償は、必要の都度、支払うものとする。

(報酬等及び費用弁償の支給方法)

- 第7条 報酬等及び費用弁償は、通貨をもって本人に支給又は支払うものとする。ただし、本人の同意を得れば、本人の指定する本人名義の金融機関口座に振り込むことができるものとする。
- 2 報酬等は、法令の定めるところによる控除すべき金額及び本人から申し出のあった立替金等を控除して支給する。

(公表)

第8条 この法人は、この規程をもって、社会福祉法第59条の2第1項第2号に定める報酬等の支給の基準として公表する。

(改廃)

第9条 この規程の改廃は、評議員会の決議によって行なう。

(補足)

第10条 この規程の実施に関し必要な事項は、理事長が評議員会の承認を経て、別に定めるものとする。

附則

この規程は平成29年6月21日(評議員会の議決日)から施行する。

別記1 理事、監事の報酬

理事会等の出席の都度1人一律5,000円

別記2 評議員の報酬

評議員会出席の都度1人一律5,000円

社会福祉法人ひより会 役員・評議員名簿

理 事	
(就任期間: 令和3年6月15日～令和5年定時評議員会終結時まで)	
役 職 名	氏 名
理事長	中村 学
理 事	室田 正史
理 事	林 能伸
理 事	辻 まゆみ
理 事	才光 亜希子
理 事	岩根 礼子
監 事	
(就任期間: 令和3年6月15日～令和5年定時評議員会終結時まで)	
監 事	荒木 嘉彦
監 事	林 志信
評 議 員	
(就任期間: 令和3年6月15日～令和7年定時評議員会終結時まで)	
評議員	熊谷 憲子
評議員	千賀 恵知子
評議員	田中 安夫
評議員	稗田 奈保美
評議員	増野 功美
評議員	松村 敦子
評議員	森山 克行